

(別紙 2)

統一論題：ロジスティクスからの価値創造

日本物流学会 第35回全国大会 実行委員会

委員長 小川智由 (明治大学商学部)

第35回全国大会では、今現在あるいはこれからのロジスティクスに求められる変革の必要性や発展の方向性を、十分にかつ明確に見定めるための議論を重ねたい。その上で、ロジスティクスによって新たに創造される多様な価値の実現に向けて、活発な議論を展開したいと考える。

具体的内容として、第1に、ロジスティクスをどのようにすれば、あるいはロジスティクスがどのようになれば、さまざまな局面で主導的にその本来の役目を果たすことができるようになるか、また第2に、ロジスティクスが企業や社会で主導的な立場となることで、企業などの組織とその活動が、企業間連携の仕組みや流通あるいはサプライチェーンなどが、そしてさらには社会全体や経済、産業、人々の日常生活が、どのように変革され、そこにどのような新しい価値が創造されるのか、などが考えられよう。それらの課題に対する、さまざまな可能性や見解を明確に見定めていきたい。

情報革新による第四次産業革命が現実問題となるとともに、これまで以上に着実に進展し加速するグローバル化の中で、そしてより一層不透明かつ予測困難になりつつある環境変化の方向や将来像のもとで、ロジスティクスの役割は従来以上に大きなものとなっている。そうしたロジスティクスへの期待の高まりは、ロジスティクスコンセプトの更なる浸透や理解促進、ロジスティクスオペレーションのより一層の進化と生産性向上、ロジスティクスインフラストラクチャやプラットフォームなどの構造変革と基盤整備、情報システムやネットワークの進展などに向けた、大きな機会として捉えることができよう。

ロジスティクスが新たに創造する企業価値、顧客価値、社会価値についての議論の成果を、産業界、教育・研究分野、社会全体、そして一人ひとりの人々に向けて、積極的に発信していきたい。それがロジスティクスの本質、役割、重要性への深い理解と、ロジスティクスの位置づけやイメージの向上につながるはずである。日本物流学会の会員をはじめ、多くの方々の積極的なご参加を期待します。